

校長室からこんにちは

令和5年9月8日（金）



ちょっと泣ける話

給食室改修工事が始まってお弁当に変わりました。給食の支度や

片付けがないので、時間を持て余してしまうようです。その分、会話も弾

み、私もいろいろおしゃべりができる楽しい時間になっています。先週、各教室で次のような質問をしてみました。「給食とお弁当とどちらがよいですか？」「御弁当の方がよい・給食の方がよい・どちらもよい」という選択肢で1年生から聞いていきました。低学年は、「どちらもよい」という回答が多かったです。給食を選んだ子は、栄養バランスや温度のことを理由として挙げていました。最後の6年生に質問をしに行ったときのことで、「お弁当」を選んだ子供が一人もいませんでした。不思議に思ったので、お弁当を選ばない理由を尋ねました。すると「親に、朝早く起きて作ってもらうのが申し訳ないから」とのこと。それを聴いていた他の子もうなずいていました。私は、思わず少しして教室を出ました。（瞳が汗をかいているのに気づかれないように。）

家では憎まれ口の一つも言うかもしれませんが、6年生になると、お家の人に温められた分、ちゃんと正しく成長しているのですね。

私は八王子に住んでいます。八王子は、中学校からお弁当です。長男が中学1年になったとき、副校長だった私は、帰宅が遅く、夕飯を作ることができませんでした。夜早く帰ることができない代わりに、遅く帰っても朝早く起きることはできるということで、一番下の子供が高校を卒業するまで、13年間お弁当を



作りました。でも、我が家の子どもたちは、本校の6年生のように思っていたのか、まったく伝わってきませんでした。・・・子育てや子供の成長とは、そういうものなのかもしれませんね。



お弁当の保管場所について

夏休みが終わっても暑い日が続いていました。4階の教室は、冷房をつけて

ても、十分に涼しく感じられない時がありました。そこで、4階の教室のお弁当は、朝からクーラーをかけた1階の元給食調理員控室に置いてあります。今週あたりから、酷暑が収まってきているので、来週いっぱい教室保管に変更する時期を検討します。（今日は教室保管です）

